第９回　冬祭り

歌笛川上青少年育成協議会主催による「冬祭り」が２月19日に３年ぶりに開かれ、町内外から親子連れなど110人が参加しました。イベントでは、造成した１周200mのスケートリンクや巨大な雪上すべり台で「氷上ソリリレー」や「雪上綱引き」、毎回人気の「お菓子まき」などが行われました。このほか、肉まんやあんまん、ホットドリンクが振る舞われ、参加者は楽しい冬のイベントを満喫しました。

＼すべり台楽しい！／

＼肉まんおいしい！／

『冬祭り』実行メンバー（歌笛川上青少年育成協議会）

『子どもたちのために』との思いから、平成23年から毎年、旧川上小学校にスケートリンクと雪上すべり台を造成するほか、「冬祭り」と題した催しを開催するなど、地域の活性化に取り組んでいます。

■活動のきっかけなど

平成23年に歌笛小学校が閉校し、「地域の子どもたちの交流の場を作ろう」と当時のＰＴＡが中心となり始めたのがきっかけです。その思いを今も継承し、地域の先輩方などの協力を得ながら、小・中学生の子どもを持つ親が中心となり活動しています。

■準備作業など

スケートリンクは、正月明けから週３回、午後７時から11時まで、凍結させるために１時間の待ち時間を挟み、前後半で１時間30分ずつ行い、１周200mのリンクを作りました。雪のすべり台は、自家用のトラクターやユンボを使い、高さ３m長さ15mのものを作りました。気温が低いだけなら我慢できますが、マイナス10度以下のときに風が吹き付けると、もう寒くて、寒くて、体感温度は倍以上に感じます。

運営費の多くは、地元企業や個人の方からの寄付です。また、毎回人気の「お菓子まき」で、一緒にまくお米は、地元農家さんが135kg分を300袋（1袋450ｇ）に小分けにして無償で提供してくれています。地域の方々の協力のおかげで開催できています。

コロナや暖冬の影響で冬祭りを開催できなかった期間もリンクとすべり台を作っていました。地元の子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿を見ると「良かったなぁ」と思います。

川上連合自治会
会長 **松本和則（かずのり）**さん

コロナ禍で小学校の運動会が縮小される中、地域の方など、みんなが参加できる事業は本当に大切だと感じます。笑顔があって、笑いがあって、にぎやかなことは、地域にとって大変良いことです。本桐の町営リンクも無くなり、地域や子どもたちのために、夜遅くまで水撒きするなど、こうした活動をする団体に対して、町からも何かしらの援助があるとありがたいです。

お菓子まき

■イベントを終えて

子どもたちが楽しんでくれ、けがなく無事終わりホッとしています。協力してくれた地域の方々に感謝しています。後継者不足の心配はありますが、今後も続けていきたいと思います。

すべり台

綱引き

水まき

参加者